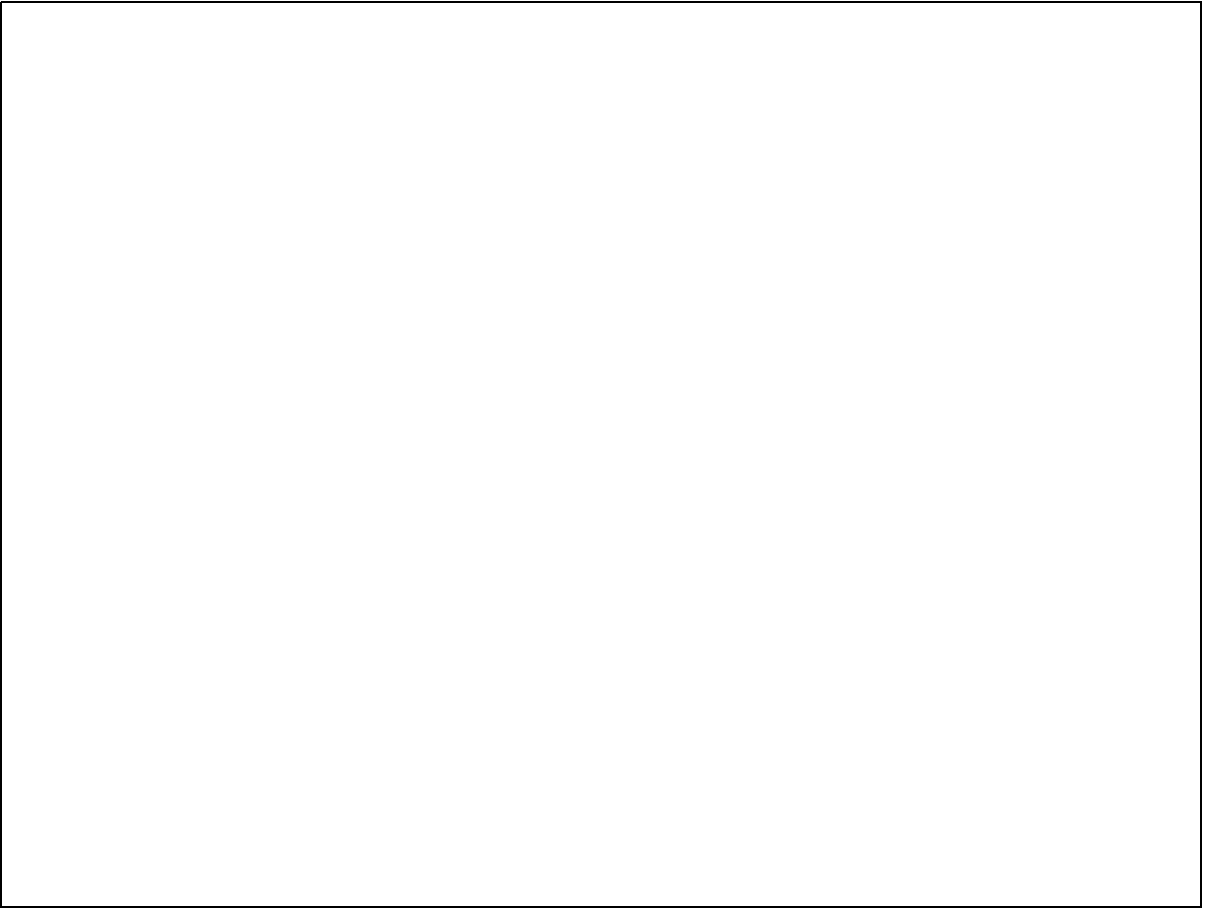
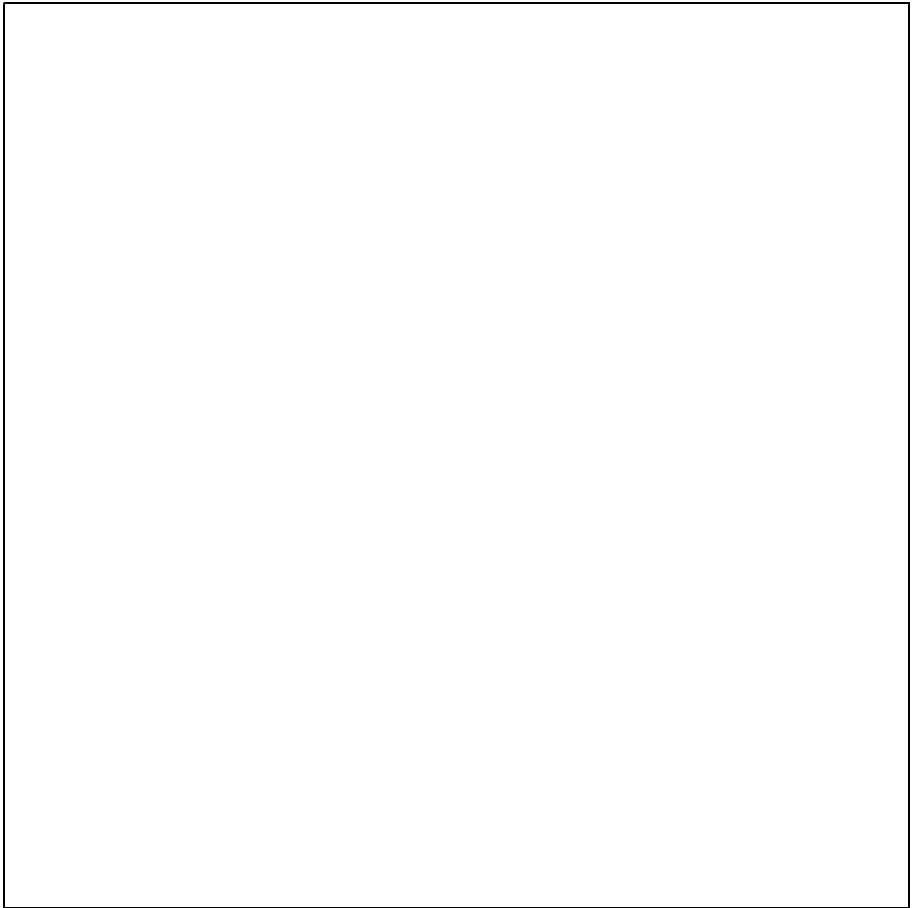


一 次の文章を読んで、後の(一)から(五)までの問いに答えなさい。

橋本治『「わからない」という方法』による





(一) 「A」、「B」にあてはまる最も適切なことばを、次のアから力までの中からそれぞれ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア しかし イ むしろ ウ なぜなら エ たとえば
オ つまり カ しかも

(二) ① 思想さえもが流行になったら、その後では、「流行」さえもが思想であるとはどういうことか。その説明として最も適当なものを次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 二十世紀は理論の時代であり、その思い込みの中で「二十世紀病」が生じ、人々はやがてそれが「思想」なのか「流行」なのかを区別することが難しくなってしまったということ。

イ 「正解」は時代とともに変化するため、その「理論」が古くなる前に新しいものを入れる必要がある、その姿勢を「流行」と呼ぶのは新しい考え方による思想であるということ。

ウ 「正解」を求めて、次から次へと新しい「理論」を漁るのを多くの人が実践した結果、それが「正解」へ近づくための一つの正しい方法であると考えられるようになったということ。

エ 学習と実践に一路邁進することが二十世紀初めに流行し、その結果として一世を風靡するような理論が生まれたように、どんな思想も必ず流行の中から生まれてくるということ。

(三) ② 得体の知れない孤独感とあるが、これが生じる理由として最も適当なものを次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 情報社会において情報を仕入れ続けられなくなった結果、周囲との一体感を失ってしまうから。

イ 情報を仕入れたところで、情報社会から得られるものが何もないことに気づかされてしまうから。

ウ 「恥の社会」の中で「自分だけが正解を知らない」ことを誰にも明かすことができなくなってしまったから。

エ 情報を手に入れることで得られるものは二十世紀人としての一体感を保つことだけだと気づかされたから。

(四) 次のアからオまでの中から、その内容がこの文章に書かれていることに近いものを二つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 人々が競って子供達を大学に行かせ、また「先端の理論」を誰よりも早く知りたがったのは、二十世紀の時点では「正解」が存在していたため、それを知らないことは恥であったからである。

イ 多くの日本人が大学に感じた幻滅には、成功のための「正解」がそこにあるという思い込みが裏切られた感覚が背景にあり、そこから外国の大学なら本物だろうという思い込みも生まれた。

ウ 会社を辞めて大学に入り直す決断をする人の多くは自分の未熟さが原因で社会の壁に当たったのであり、成功に近づくための「正解」に出会えない限り、また挫折を繰り返すだけである。

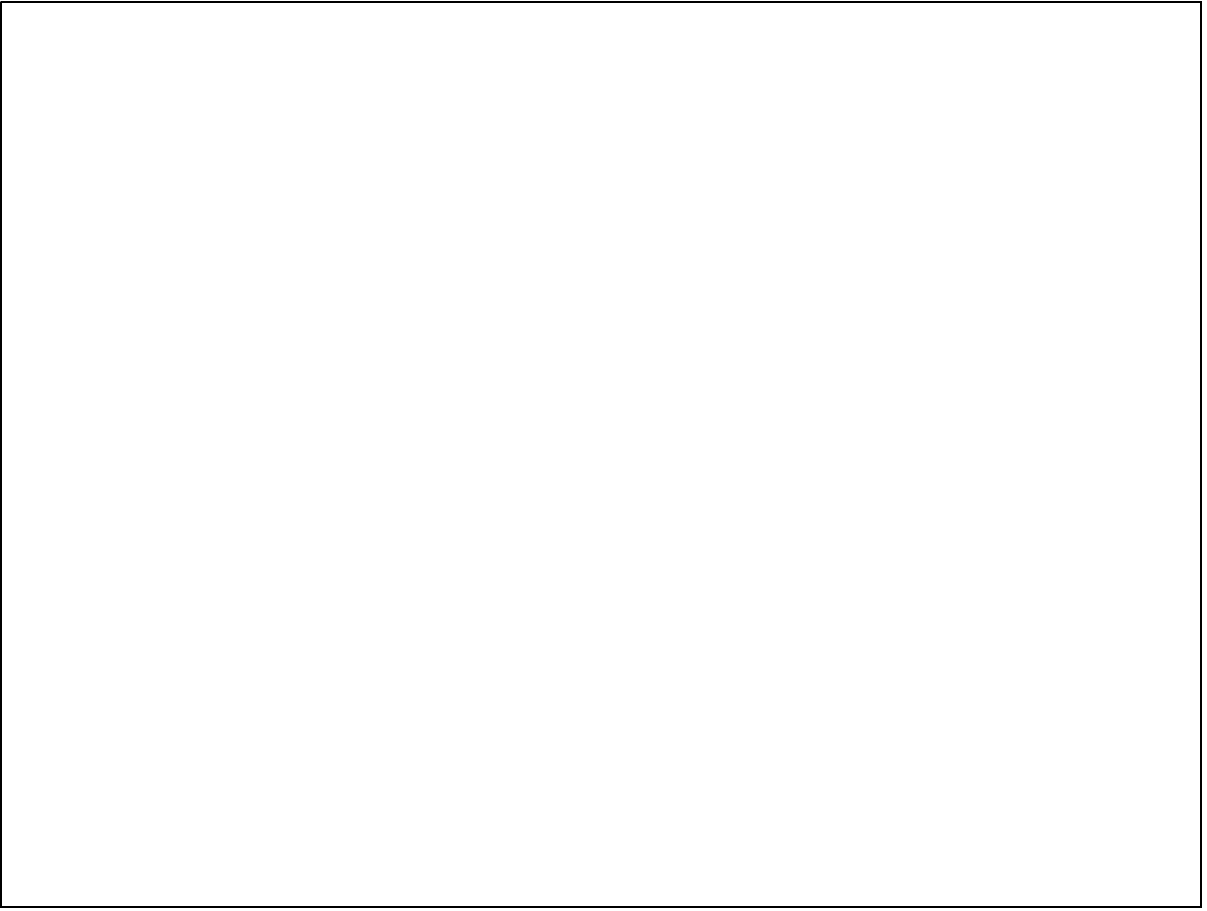
エ 「正解」がどこかにあるとする二十世紀の考え方のもとでは、「学習」とは、すでに存在する正解を信じて自分のものにしていくために、それを熱心に学習し実践する行為であるといえる。

オ どこかにはあるはずの「正解」を求めて「情報」を漁る二十世紀病のために、「わからない」ことを恥とするようになり、その結果として日本の社会は「恥の社会」と呼ばれるようになった。

三 次の文章を読んで、後の(一)から(六)までの問いに答えなさい。

石川伸一 『「食べること」の進化史』

培養肉・昆虫食・3Dフードプリンタ』による





(一) ① にあてはまる最も適当なことばを次のアからエまでのなかから選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 客観的 イ 積極的 ウ 一般的 エ 思想的

(二) ② 立ち止まって考える とあるが、これはどのようなことをたとえた表現か。最も適当なものを次のアからエまでのなかから選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 食に対する精神や観念、価値体系などを気にかけないよう工夫するということ。

イ 異質な食文化や食環境と意識して出会うことで食について考え直すということ。

ウ 習慣化されて無意識になっている自身の食について、改めて考えるということ。

エ 固定化してしまった食に対する思考パターンを改めて選択しなおすということ。

(三) ③ 「事件」とあるが、この事件を例とした筆者の「食」についての主張を要約し、八十字以上九十文字以内で書きなさい。ただし、「現地」「国境」「宿命」という三つのことばを全て使って、「海外の「スシ」が、……」という書き出しで書くこと。三つのことばはどのような順序で使ってもよい。

(注意) ・句読点や「」も一字と数えて、一字分のマスを使うこと。

・文は、一文でも、二文以上でもよい。

※ 左の枠は、(三)の下書きに使ってもよろしい。ただし、解答は必ず解答用紙に書くこと。

									海
									外
									の
									「
									ス
									シ
									」
									が
									、

90 80

(四) 「A」に入る表現として最も適当なものを次のアからエまでの

中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア お正月に食べるおせち料理や雑煮^{ぞうじ}などは、家族のアイデンティ

イ、自己のアイデンティティの形成に関与してきたことでしょう

イ アボカドが入っているようにマヨネーズがかかっているようにスシ

はスシであるということ、そうして国境を越えていくのです

ウ 幼虫を生で食べるのは私たちには「気持ち悪い」ことかもしれ

ませんが、現地の人には魚の刺身の方が気持ち悪いのでしょ

エ 故郷を離れたとき、その土地の食べ物に不思議な違和感を感じ

ることで初めて自身の「食」について考えることになるのです

(五) この文章中の段落の関係を説明したものと最も適当なものを、

次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 第一段落で「食」に対する一般的な見解を挙げ、第二段落ではそ

の誤りを批判的に検証しながら問題提起を行っている。

イ 第二段落で「食」と思想との関わりについて丁寧^{ていねい}に分析し、第三

段落では今に至るまでの歴史的な経過を整理している。

ウ 第三段落で「食」をめぐる考え方が対立した具体的な事例を挙

げ、第四段落ではその原因を分析して解決策を提案している。

エ 第四段落で「食」が個人のアイデンティティに関わる具体例を挙

げ、第五段落ではさらに集団を対象を広げて考察を深めている。

(六) 次のアからオは、この文章をもとにグループワークを行った各班の

意見をまとめたものである。その内容が、本文での筆者の考え方に近

いものを二つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア (二班) 「食」は国や地域のアイデンティティとして精神的な支

えになるものです。それでも、おいしい料理はそうした境
界線を越えて多様化する宿命も持っているので、自分たち
の「食」を大切にすることと他人の食を尊重することの両
方を考える必要があると思います。

イ (二班) 食するという行為には個人や集団のそれぞれの考え方が

反映されるため、その社会集団の文化を伝える大切なもの
です。ですから、それぞれの国で大切に守り、そうした文
化が崩されることがないように正確に伝えられるよう努め
ることが大切だと思います。

ウ (三班) 「食」の文化から生まれる帰属意識のために、人種やジ

ェンダーなどのヒエラルキーが形成されてしまいます。そ
うした差別をなくすためにも、自分たちの「ソウルフード」
にこだわりすぎることなく、あらゆる食文化に馴染んでい
くことが大切だと思います。

エ (四班) 「食」は個人や集団がアイデンティティを形成するとき

にとっても大切な役割を果たしています。だからこそ、自分
たちの枠組みから外れる人を排除することが絶対にないよ
うに、自分と他人を区別することなく受け入れていくこと
が大切だと思います。

オ (五班) 多くの人は「食」に対して日頃から深く考えることなく

過ごしています。しかし、「食」を通してアイデンティテ
ィが形成され、自分たちの帰属意識を高める一方で他人を
排除することもあるという両方の面を持っていることを意
識しておく必要があると思います。

四 次の古文を読んで、後の(一)から(四)までの問いに答えなさい。(本文の……の左側は現代語訳です。)

それがし若きとき、武蔵にありしに、そのころまでは 人参 を用ふる 私 が

くすし、はなはだまれなり。もしも人参を用ふるくすしあれば、下手な 医者、大麥珍しかつた。

りといへり。世の人、人参の功ある事を知らずとて、杉某 といへるく 杉 といへるく 効能 処方 する

すし、つねにうれへとして語りき。そののち、李士材、蕭万興 といへる 心配事

ものの方書、世に行はれ、けふこのごろにいたりては、かるきやまひ に 医学書 世の中に広まり

も、人参を用ひざるくすしは少なし。もしも人参を用ひざるくすしあれ

ば、下手なりといへり。さるころ、また武蔵にゆき、杉某 にあひしに、

世の人、人参の害ある事をしらずと語りて、その事のみうれふ。徐景山

が通介なりとほめけり。定まりたる見識ありて、世のはやりにしたがは 徐景山 流行 流 行 に 冷 静 な 心 で あ る こ と だ

ざるこそたうとけれ。

尊いことだ

『たはれ草』による

(注) ○人参Ⅱ高麗人参。漢方医学で生薬として用いられた。

○李士材、蕭万興Ⅱともに明時代の中国の医者。

○徐景山Ⅱ中国三国時代の政治家。

(一) ① 人参を用ふるくすし、はなはだまれなり とあるが、その理由として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 高麗人参は下手な医者には使いこなせなかったから。

イ 高麗人参には害があることが広く知られていたから。

ウ 高麗人参に効能があることが知られていなかったから。

エ 高麗人参は高価なため一般の人に処方できなかったから。

(二) 波線部アからオまでの中から、杉某 といへるくすし が主語であるものを 全て 選 ん で、そのかな符号を書きなさい。

(三) ③ かるきやまひ にも、人参を用ひざるくすしは少なし の現代語訳として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 軽い病であっても、高麗人参を処方しない医者は少ない

イ 軽い病であれば、高麗人参を処方する医者は少なかった

ウ 軽い病であっても、高麗人参を処方する医者はまれである

エ 軽い病であれば、高麗人参を処方しない医者が少なくない

(四) 次のアからエまでの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 医者は時代にあった処方を見つけていく必要がある。

イ 名医は確固とした見識を持って、流行に流されない。

ウ 数々の方書により高麗人参の害毒を医者たちは知った。

エ 高麗人参の害毒で犠牲者が多く出たことが悔やまれる。

(問題はこれで終わりです。)

